

研究者総覧：胡 潔 (HU, Jie)

氏名	胡 潔 (HU, Jie)	
職名	教授	
所属講座	日本語文化専攻比較日本文化学講座	
学位（専攻分野）	博士（人文科学）・お茶の水女子大学	
メールアドレス	hu-jie@lang.nagoya-u.ac.jp	
個人のホームページ	http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/staff/hu.html	
研究分野	平安文学	
	比較家族史	
	比較文学	
現在の研究テーマ	律令制度の導入と古代日本の家族制度	
所属学会	中古文学会	
	東方学会	
	和漢比較文学会	
主要著書・論文	『平安貴族の婚姻慣習と源氏物語』 風間書房、2001年.	
	『『河海抄』の妻妾論について』『中古文学』1999年.	
	「長恨歌」と「桐壺」『海外における源氏物語の世界——翻訳と研究』伊井春樹編、風間書房、2004年.	
	『『源氏物語』の始発——桐壺卷論集』『源氏物語の始発——桐壺卷論集』日向一雅・仁平道明編、2006年.	
	「養老令における親族名称について——五等親条と服紀条を中心に」『言語文化論集』第28巻第2号、2007年.	
自己紹介文	<p>多くの女流歌人、作家が輩出する平安文学に魅了され、研究し始めてからはや20何年もの歳月が流れていました。あっという間に。平安時代の物語文学、漢詩文の研究をする傍ら、平安文学の背景となる当時の婚姻形態、家族形態について研究をしています。2001年に公刊された『平安貴族の婚姻慣習と源氏物語』（風間書房）は平安時代の婚姻形態とそれを背景に書かれた『源氏物語』に関する私の考えを纏めたものです。平安時代の貴族の結婚といえば、「通い」「婿取り」などの言葉がまず頭に</p>	 <p>古代中国と日本の律令・婚姻儀式の比較から婚姻居住と正妻の成立、紫の上の呼称等について解明した。</p>

	<p>浮かびます。いわば一種の常識ですが、しかし、これらすでにわかりきっていると思われる常識には、実のところまだ解明されていないことが多いです。平安文学の多くの内容は貴族の恋愛や結婚に関するもので、これらの作品を理解し、解釈するためには、当時の家族のあり方、婚姻のありかたに対する正しい認識が前提となります。この意味では、平安貴族の家族形態、婚姻慣習の研究は平安文学研究にとって欠かせないものだといっても過言ではありません。勿論平安時代の婚姻慣習だけではなく、古代日本文化に関心があり、かつ意欲的に学ぼうとする方を歓迎します。</p>
<p>受験生へのメッセージ</p>	<p>「文化研究」とは何か。答えるのが簡単のようで、難しい。「文化」は「時」と「場」によって異なり、境界線を持っています。また文化要素は「時」と「場」を越えて他の文化と融合する特性も持っています。このような文化の地域性と流動性、個別性と普遍性を見極める確かな「眼」を、学習を通して、学友との切磋琢磨を通して養いましょう。日本は古くから他の文化、文明との接触、交流を行ってきた国です。豊かな異文化接触によって形作られた日本文化の多様性は、比較文化研究を行う者にとって、大変魅力的な研究対象です。大学院の開講科目「日中比較文化論 a、b」では、主に古代日本の文字表記、政治制度、文芸表象などの諸事象から、古代日本と外来文化の関係の諸問題を取り上げて、単に古代日本と古代中国の文化の相違点を洗い出すだけではなく、文化の流動、衝突、融合の過程を観察する方法を学びます。指導できる範囲は、平安文学、日中古典文学の比較研究、古代日本の家族史です。</p>



土佐光起筆『源氏物語画帖』より「若紫」